

思い出の昭和史

【 昭和18年 】(1943年)

どんな年？	<ul style="list-style-type: none"> ・開戦からまさに怒涛の勢いだった戦局も、半年ほどで米軍の反攻が勢いを増して容易ならざる事態に。最前線ガダルカナル島は飢餓の島と化し、北太平洋ではアッツ島が玉砕して果てる。 ・連合艦隊司令長官、山本五十六戦死の報は日本中に大ショックを与える。大本営は国民の戦意喪失を食い止めるべく、鐘や太鼓で大戦果を報じる。山本五十六の死も1ヶ月伏せられていた。 ・学徒出陣で10万人と推定される学徒たちが過酷な戦地に。やがて国民は少年から壮年までの「根こそぎ動員」体制を強いられる。
主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・上野動物園で猛獣毒殺。「空襲による万が一の事態に備えて」の大義名分で、その後全国の動物園にも展開。 ・鳥取で大地震(M7.2 1083人死亡行方不明) ・銀座「街路灯」撤去・供出。成田山新勝寺、境内巨木、船材として供出。学童の縁故疎開促進。
世相・流行	撃ちてしまむ 元帥の仇は増産で 買い出し 国民相場
話題の本	日本婦道記(山本周五郎) 陸軍(火野葦平) 海軍(岩田豊雄) 日本文化私観(坂口安吾) 大和路・信濃路(堀辰雄)
人気映画	無法松の一生 姿三四郎(黒沢明監督第1回作品)
はやり歌	勘太郎月夜唄 加藤隼戦闘隊 若鷲の歌 同期の桜 お使いは自転車に乗って 夜来香
賃金	大卒銀行員初任給 75 円
物価	たばこ(ゴールデンバット)23 銭、新聞購読月 1 円 20 銭 映画封切館 80 銭 ビール 90 銭 もり・かけ 13 銭
来る人	北大路欣也 橋幸夫 アントニオ猪木 関口宏 桂三枝 加藤茶 大前研一 加藤登紀子 吉村作治 野間脩平 田村正和
往く人	山本五十六(59歳) 島崎藤村(71歳) 鈴木梅太郎(69歳)

米軍の反攻が本格化する中、大本営発表の嘘が続く。ガダルカナル撤退の時は「転進」、アッツ島の玉砕は「戦史に残る絶妙の転進」、負け戦を「敵に多大なる被害を与えるも我が方損害軽微」、圧倒的敗北は隠蔽して発表されなかった。

しかし、国民の側にも嘘があった。実戦の役に立たぬとわかっていながら、非国民と言われるのがいやで竹槍でわら人形を刺す訓練をする。戦争をやめたい、死ぬのがいや・・・だが天皇の命令だから忍びがたきを忍ぼう・・・なんという歴史的大欺瞞か。